

令和5年度愛媛県社会教育研究大会 教育長あいさつ

令和5年11月29日（水）
エスポワール愛媛文教会館大ホール

令和5年度愛媛県社会教育研究大会が、県内の社会教育委員の皆様並びに多数の関係者の方々の御参加を得て、このように盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

また、皆様方には、それぞれの地域において、生涯学習・社会教育の充実・発展に御尽力を賜っており、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、3年以上に及んだコロナ禍により、地域活動が中止や縮小を余儀なくされ、また、私たちの働き方やライフスタイルも急速かつ大きく変化したことで、地域への帰属意識や住民間の関係が希薄化するなど、地域コミュニティの維持を危ぶむ声も聞かれているところであります。

こうした中、本年6月に閣議決定された第4期教育振興基本計画では、社会教育による「学び」を通じて、人々の「つながり」や「かかわり」を作り出すことが、持続的な地域コミュニティの基盤となるとの考えの下、地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進を、今後の教育政策に関する基本的な方針の一つに掲げ、地域と学校のつなぎ役となる人材の育成、保護者や地域住民等が学校運営に当事者として参加するコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進など、社会教育の充実による地域コミュニティの基盤強化を図ることとしています。

県におきましても、「学び」を通じて「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の好循環を生み、地域コミュニティの基盤形成に大きく寄与する社会教育の役割は、今後ますます重要性を増すものと考えております。このため、本年3月に策定した「第3期愛媛県教育振興に関する大綱」において、「社会総がかりで取り組む教育の推進」を振興方針の一つに掲げ、学校、家庭、地域住民、企業等の多様な主体が連携・協働して、子どもの学びの場の確保や家庭教育支援の充実に努めるとともに、学校と地域を橋渡しする人材の育成支援などを通じて、子どもたちが健やかに育ち、地域に愛着を持って地域社会で活躍できるたくましい若者に成長できるよう、地域の教育力のより一層の向上に取り組んでいるところであります。

本日の研究大会では、各方面で生涯学習・社会教育に携わる方々が一堂に会され、「持続可能な地域コミュニティの形成に向けた社会教育の在り方～全ての人のウェルビーイングの実現を目指して～」を主題に、これからの地域社会に望まれる生涯学習・社会教育の在り方について、研究・協議を深められるとお聞きしており、大変心強く感じております。

皆様方におかれましては、本大会で得られた成果をそれぞれの活動に活かしていただき、本県の生涯学習・社会教育の充実に、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県社会教育委員連絡協議会のますますの御発展と御参会の皆様方の御健勝、御活躍を祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。